

第3章 町づくりの理念と目標

3-1 町づくりの基本理念

これまでに整理した「町づくりの課題」「町の将来像」などをふまえて、町づくりをおこなっていく上での基本的な考え方、基本理念を整理すると、次のとおりです。

①住民一人ひとりを大切にしたい町づくり

生をうけてから亡くなるまでの生涯を、あるいは人生のひと時を「邑楽町で過ごすことができ、幸せだった」と心から思えるように、住民一人ひとりの人権とその自立を尊重し生きがいをもって暮らせるような町づくりを進めていきます。

住民だれもがそれぞれの個性を發揮し、主体的に社会へ参画することがとても重要です。一人ひとりの個性やニーズを尊重し、改善を積み重ねることにより、すべての人にとって暮らしやすい環境をつくっていかうという考え方(＝ユニバーサル・デザイン)を、今後の町づくりにおける基本的な姿勢とします。「人」を町づくりの中心に考え、それぞれの人の個性や生き方が尊重されるような社会環境を目指していきます。

②多様化する住民ニーズに応える町づくり

経済の成熟化とともに、国民の意識は大きく変化してきています。本町においても、アンケート調査や広聴会などの結果に表れているように、住民の意識の多様化・高度化の傾向がみられます。今後は、こうした住民の声をこれまでも増して町の施策に反映し、住民と行政との協働の取り組みや、住民の自主的な取り組みを行政が支援する体制への転換を目指していきます。

③激変する社会に柔軟に対応する町づくり

我が国の社会・経済構造は、絶えずしかも大きく変化を続けています。本町においても例外ではなく、激動と変革に柔軟に対応した町づくりを進めていく必要があります。具体的には、次に示すような状況の変化に対応していきます。

- 産業構造の変化への対応
- 少子・高齢化、総人口減少社会への対応
- 高度情報化への対応
- 地方分権への対応 など

④柔軟な発想に基づく新しい町づくり

行政の果たすべき役割は、時代とともに変化します。本町においても町の本当の役割はどこにあるのかを再検討・再認識し、必要に応じてその領域や範囲を見直していきます。

行政のみでできることには限界があります。企業や各種組織を含め、住民が潜在的に持つアイデアやその活力を可能な限り引き出し、行政と住民の協働による町づくりを進めていきます。

近接する周辺の町との合併は見送られましたが、広域的な連携の必要性に変わりはありません。すべてを町単独で解決しようとするのではなく、広域的な協働作業により問題解決を図っていきます。

3-2 町づくりの目標

前述の「町づくりの基本理念」をふまえつつ、具体的な町づくりを進めていく上での各論的な目標として、次の8項目を掲げます。これは、第1章の「町づくりの課題」に対応した構成としています。

- 目標①：自然環境を守りつつ、計画的な土地利用を進めます。
- 目標②：生活を支える都市基盤を整えます。
- 目標③：安心して快適に暮らせる生活環境をつくります。
- 目標④：やさしさと思いやりのある健やかな暮らしを支えます。
- 目標⑤：創造性と個性を大切にした教育・文化を育てます。
- 目標⑥：活気とにぎわいのある産業活動を支援します。
- 目標⑦：心のふれあう対話の地域社会をつくります。
- 目標⑧：的確な行財政運営と住民参加を進めます。